

2. 理化学課

1) 不定期依頼検査

不定期に依頼される検査として、行政部局および市民等からの一般依頼検査並びに食中毒・苦情等保健所からの依頼検査を実施した。平成12年度に実施した検査の概況を表1に掲載した。雪印乳業の食中毒事件の発生後、行政からの依頼検査、市民からの依頼検査ともに増加し、今年度持ち込まれた不定期依頼検査数は昨年度の約1.5倍であった。

牛乳類に関する苦情は13件でそのうち4件、5検体で成分規格を超過し、腐敗物を混入させた異物混入とみられるものも1件あった。

「資料」p194～209に詳細を掲載。

(1) 行政からの依頼検査

①保健所からの依頼検査

保健所から64件、214検体の食中毒・苦情について検査依頼があり、576項目について検査を実施した。

異物、異味、異臭等と成分規格違反に関する依頼が多く、中でも乳製品の依頼が多かった。

また、持ち込まれた検体のうち17件が有症苦情であった。

毒物混入の疑いで9件依頼検査があったが何れも検査した毒物は検出されなかった。平成10年度の和歌山県の砒素入りカレー事件以後、依然として毒物に対する市民の不安が継続している。

②保健所以外の行政部局からの依頼検査

保健所以外の行政部局からは15件、32検体が持ち込まれ、42項目について検査を実施した。食品衛生法に適合しているかどうかの確認試験が多く、おうとう1件、ブドウ2件で農薬の残留基準超過が、オレンジ1件で防ばい剤の使用基準超過が確認された。

(2) 市民からの依頼検査

市民からは14件、18検体が持ち込まれ、34項目について検査を実施した。食品に混入した異物の検査が最も多く、次に異味、異臭に関する検査依頼が多かった。

毒物混入の疑いで検査した2件のうち1件から清涼飲料水にトイレの塩素系消毒液の混入が認められた。

表1 平成12年度の不定期検査実施状況

依頼者	区分	検体数	項目数	検査区分								有症
				違反の確認	毒物混入	異味	腐敗	カビ	異臭	異物	その他	
行政部局	保健所	214	576	14	9	16	3	3	8	20	8	18
	上記以外	32	42	9			1		2	4		
	小計	246	618	23	9	16	4	3	10	24	8	18
市民		18	34		2	3	2	1	3	7		
計		264	652	23	11	19	6	4	13	31	8	18

2) 厚生省委託事業「平成12年度食品中残留農薬実態調査」

- (1) 委託機関 厚生労働省
- (2) 委託期間 平成12年4月～13年3月
- (3) 委託料 1,359千円
- (4) 委託項目 インダノファン及びテブラロキシジム
- (5) 委託件数 インダノファン4検体、テブラロキシジム60検体、計64検体
- (6) 実施内容 「報告・ノート」p149～155に詳細を掲載。

3) 福岡省委託事業「平成12年度油症検診」

- (1) 委託機関 福岡県
- (2) 委託期間 平成12年10月～13年1月
- (3) 委託料 198千円
- (4) 委託項目 PCB
- (5) 委託件数 PCB検診者15検体、健常者対照群3検体、計18検体。
- (6) 実施内容 「資料」p213～214に詳細を掲載。